

桂良太郎 教授 略歴・主要著作目録

学 歴

- 1969年4月 京都外国語大学外国語学部英米語学科入学
1970年4月 カナダBC州ヴァンクーバー市立大学聴講生（1971年3月帰国）
1974年3月 京都外国語大学外国語学部英米語学科卒業
1974年4月 京都外国語大学大学院外国語研究科英米語学専攻入学
1976年3月 京都外国語大学大学院外国語研究科英米語学専攻修了（文学修士）
1977年3月 大阪市立大学大学院文学部修士課程社会学専攻聴講生
1979年3月 大阪市立大学大学院文学部修士課程社会学専攻聴講単位認定
1979年4月 関西大学大学院社会学研究科前期博士課程社会学専攻入学
1981年3月 関西大学大学院社会学研究科前期博士課程社会学修了（社会学修士）
1981年4月 関西大学大学院社会学研究科後期博士課程社会学専攻入学
1984年6月 関西大学大学院社会学研究科後期博士課程社会学専攻単位取得満期退学

職 歴

- 1984年4月 姫路学院女子短期大学専任講師
1986年4月 同短期大学助教授
1989年3月 奈良大学社会学部専任講師
1992年3月 同大学助教授
1994年6月 国立シンガポール大学人文社会学部社会福祉・心理学科客員研究員
（奈良大学在外研究）1995年7月 帰国
1999年4月 奈良大学社会学部教授
2003年4月 同大学大学院社会学研究科社会学専攻教授
2005年4月 立命館大学産業社会学部教授（国際インスティテュートにより国際関係学部へ移動）
2005年4月 立命館大学・大学院国際関係学部教授

2010年10月 国立シンガポール大学人文社会学部社会福祉学科客員研究員
(立命館大学在外研究) 2011年3月 帰国

【著書】

- 『家族と福祉—現代家族福祉研究序説—』(雀部猛利)海声社, 1987年
- 『家族社会学ノート』(前田卓ほか)関西大学出版会, 1989年
- 『老人福祉論』(浅野仁ほか)川島書店, 1992年
- 『現代社会福祉辞典』(京極高宣ほか編著)雄山閣出版, 1992年
- 『現代社会論の展開』(船津衛編著)北樹出版, 1992年
- 『家族福祉の視点—多様化するライフスタイルを生きる』(野々山久也ほか)ミネルヴァ書房, 1992年
- 『世界の社会福祉年鑑』(仲村優一ほか編著)旬報社, 2001年
- 『家族福祉論—全体としての家族へのサポート』(相澤謙治ほか編著)勁草書房, 2001年
- 『胎動するベトナムの教育と福祉』(黒田学ほか編著)文理閣, 2003年
- 『世界の社会福祉年鑑(2003年版)「ベトナム」「シンガポール」』旬報社, 2003年
- 『アジアの社会福祉』(共著・西郷泰之)日本放送大学出版協会, 2006年
- “Challenge of Social Care in Asia” ‘An Over view of social Security For Long-Term Caring in Japan’ (Ngho Tiong Tan and S.Vasoo eds.) Marshall Cavendish Academic, 2006
- 『エンサイクロペディア社会福祉学』「各国の社会福祉—ベトナム・シンガポール・マレーシア」中央法規, 2007年
- 『世界の社会福祉年鑑(2007年版)』「各国の社会福祉の現状—ベトナム」旬報社, 2007年
- 『手づくりの国際理解教育—ベトナム障害児スタディツアー』「国際理解教育の課題と展望—いまなぜ国際理解教育か—(開発教育・国際福祉の視点からセミナーをとらえる)」かもがわ出版, 2008年
- 『高齢者の介護のコツ—介護を支える基礎知識』(石田一紀ほか編著)「介護哲学」「アジア的介護」クリエイツかもがわ, 2010年
- 『ベトとドクと日本の絆—「奇跡の命」を通じて考える戦争と人間』(藤本文朗・桂良太郎・小西由紀編著)「ベトナムのお年寄りたちに生きざまから学ぶもの—福祉学と平和学と老年学の統合を目指して—」新日本出版社, 2010年
- 『岡村理論の継承と発展(第3巻)「社会福祉における生活主体論」』「アジア諸国の人々の人間観—「家長長制論」から「普遍の人間論」へ」ミネルヴァ書房, 2012年
- 『わたしたちは22世紀を望めるのか(GN21人類再生シリーズ⑧)』(片岡幸彦・安藤次男編著)

「自然力」を「文化力」に！—「里山学」への誘い、たかが「里山」されど「里山」— 紀伊国屋書店（電子書籍）、2013年

“Dioxin Unforgettable Responsibility!” Viet & Duc and World Peace ‘What we can learn from the elderly in Vietnam- An integration of studies of social welfare, peace, and gerontology’ (Dr.Nguyen Thi Ngoc Phuong, Prof.Bunro Fujimoto, Prof. Ryotaro Katsura eds.) First News (Ho Chi Minh City General Publishing House), 2013

“Expanding Peace, Ecology : Peace, Security, Sustainability, Equity and Gender Perspectives of IPRA’s Ecology and Peace Commission” ‘Converting the Forces of Nature into a Cultural Force- An Invitation to Pursue the Study of Satoyamas’ (Ursula Oswald Spring, Hans Gunter Brauch, Keith G. Tidball eds.), Springer, 2013

『世界の平和博物館 (Museums for Peace in the World) 2016年度版』【CD-ROM】(桂良太郎・山根和代共編) 立命館大学国際平和ミュージアム, 2016年

【論文】

“The Usage of “You” and “Thu” in Merry Wives of Windsor” (修士論文) 京都外国語大学院, 1975年

「W.I. タマスの社会学の概要についての一覚書」『人間科学』第14号, 関西大学院院生協議会, 1979年

「家族問題研究についての一覚え書」『人間科学』第16号, 関西大学院院生協議会, 1980年

「家族福祉研究法にまつわる一考察」(修士論文) 関西大学大学院社会学研究科, 1981年

「家族福祉と「家族政策」」『人間科学』第18号, 関西大学院院生協議会, 1981年

「介護状況：に関する社会的考察についての一つの方法論的序説」『老人問題研究』第2号, 大阪府立老人総合センター, 1982年

「家族ソーシャルワークと家族分析の一考察」『人間科学』第20号, 関西大学院院生協議会, 1982年

「家族福祉と社会的人間論」『姫路学院レビュー』第6号, 姫路学院女子短期大学, 1982年

「日本の家族の特質と家族福祉研究—柳田国男の家族論を手がかりとして—」『姫路学院レビュー』第7号, 姫路学院女子短期大学, 1983年

「家族福祉の概念と機能についての一考察」『姫路学院女子短期大学紀要』第12号, 姫路学院女子短期大学, 1984年

「戦後の家族の変動と家族研究の推移についての一考察」『姫路学院レビュー』第8号, 姫路学院女子短期大学, 1985年

「家族福祉研究の変遷について」『姫路学院女子短期大学紀要』第13号, 姫路学院女子短期大学, 1985年

「母子保健事業従事者（助産婦）の社会学的一考察」『姫路学院レビュー』第9号，姫路学院女子短期大学，1986年

「転換期の社会福祉について」『姫路学院女子短期大学紀要』第14号，姫路学院女子短期大学，1986年

「母子保健と家族福祉に関する一覚書—これからの助産婦活動のあり方をめぐって—」『姫路学院レビュー』第10号，姫路学院女子短期大学，1987年

「母子保健事業の今日的課題」『姫路学院女子短期大学紀要』第15号，姫路学院女子短期大学，1987年

「人種の偏見（特に偏見と差別）に関する一試論—カナダインディアンを事例として—」『姫路学院レビュー』第11号，姫路学院女子短期大学，1988年

「家族福祉政策とシルバーサービス産業—産業福祉論に関する一覚え書—」『奈良大学紀要』第18号，奈良大学，1990年

「高齢化社会と地域保健福祉計画の方向性に関する一試論—奈良県山添村の取り組みを事例として」『奈良大学紀要』第19号，奈良大学，1991年

「奈良県における在宅福祉供給システムの構築に向けての基礎的研究」『大阪ガスグループ福祉財団調査報告者』Vol.5，大阪ガス福祉財団，1992年

「家族福祉研究の変遷と課題」『奈良大学紀要』第20号，奈良大学，1992年

「21世紀の都市環境と子ども」『TOMMORROW』第7巻，（財）あまがさき未来協会，1992年

「高齢者の能力活用の現状と課題」『奈良大学紀要』第21号，奈良大学，1993年

「奈良県における高齢化社会における家族福祉施策のあり方に関する研究」『奈良大学総合研究所所報』第2号，奈良大学，1993年

“Description about the Necessity of Family Policy”『奈良大学紀要』第22号，奈良大学，1994年

「シンガポールの社会福祉の現状と課題についての一考察」『奈良大学総合研究所所報』第3号，奈良大学，1995年

「奈良県における高齢化社会における社会福祉に関わる人材の確保（雇用）とその養成のあり方についての現状と課題」『奈良大学総合研究所所報』第3号，奈良大学，1995年

“Partnership between the Social Worker And Architect in Urban Conservation” ASIA PACIFIC OF SOCIAL WORK Vol.5, No.2, The Academy Press, 1995

「シンガポールの高齢化と住宅政策」『海外社会保障情報』No.116，社会保障研究所，1996年

Ageing and Social Welfare in Singapore『奈良大学紀要』第25号，奈良大学，1997年

「アジア型社会福祉に学ぶもの」『大阪社会福祉研究』第21号，大阪市社会福祉研究情報センター，1998年

- 「[奈良町]の高齢化とNPO(特定非営利活動法人)の役割—(社)奈良まちづくりセンターを事例として—」『奈良大学総合研究所所報』第7号, 奈良大学, 1999年
- 「シンガポールの医療・社会福祉の現状」『月刊福祉』(1999年4月号), 日本社会福祉協議会, 1999年
- 「シンガポールにおけるソーシャルワーカー協会の現状と課題について」『ソーシャルワーカー』第6号, 日本ソーシャルワーカー協会, 2001年
- 「ベトナムにおける社会福祉研究の現状と課題について—女性および家族研究の動向調査から—」『奈良大学総合研究所所報』第9号, 奈良大学, 2001年
- 「ユニバーサルヒューマンライツと地域福祉—あたらしい福祉社会のパラダイムモデルを求めて—」『地域福祉研究』No.31, 日本生命済生会, 2003年
- 「子育て・女性健康支援センターの評価—社会学の立場から—」社団法人 日本助産師会, 2005年
- 「アジアにおける高齢化問題に関する—考察」『立命館国際地域研究』第4巻, 立命館国際地域研究所, 2006年
- 「国際福祉と平和研究・教育の重要性について—あらたな平和・福祉社会のパラダイムモデルを求めて—」『立命館平和研究』第8巻, 立命館大学国際平和ミュージアム, 2007年
- 「[地域創造]と平和博物館—平和博物館のあらたな役割と課題」『立命館平和研究』第9巻, 立命館大学国際平和ミュージアム, 2008年
- 「ユニバーサル・ヒューマンライツと「まちづくり」」『居住福祉研究6』日本居住福祉学会編, 東信堂, 2008年
- “Peace, Well-being and Peace Museums: Towards a New Paradigm” Museums for Peace: Past, Present and Future, The Organizing Committee of The Sixth International Conference of Museums for Peace, Kyoto Museum for World Peace, Ritsumeikan University, 2008
- 「アジアの社会福祉から学ぶこと—シンガポールの智恵から—」『福祉のひろば』2009年7月号, 総合社会福祉研究所, 2009年
- 「[戸田城聖原水爆禁止宣言]の歴史的意義」『潮』2009年11月号特集「核廃絶」への道, 潮出版社, 2009年
- 「第6回国際平和博物館会議報告書」共著: 安齋育郎・山根和代ほか, 第6回国際平和博物館会議実行委員会, 2009年
- 「[アフリカ, 中東の平和博物館訪問から学んだことがら]—和解のキーワードは「市民力」と平和構築は「3k(観光・健康・環境)の融合」から—」山辺昌彦・山根和代・安齋育郎編, 平和のための博物館・市民ネットワーク『ミューズ』, 第24号, 2010年

「ベトナムのお年寄りたちの生きざまから学ぶもの」(世界のくらしと文化③ ベトナム), 『人権と部落問題』 部落問題研究所, 2010 年

「世界のくらしと文化—シンガポール—① シンガポールのゆめ・ゆとり・ゆうき」『人権と部落問題』 部落問題研究所, 2011 年

「世界のくらしと文化—シンガポール—② シンガポールのゆめ・ゆとり・ゆうき」『人権と部落問題』 部落問題研究所, 2011 年

「世界のくらしと文化—シンガポール—③ シンガポールのゆめ・ゆとり・ゆうき」『人権と部落問題』 部落問題研究所, 2011 年

「学移連と私「生駒の高山を, 世界の高山へ！」」『我が青春の学移連』学移連 OB 会設立準備会, 2011 年

“Toward the networking of museums for a new approach to peace-The creation of a more mature Global Citizenry, as well as a review of the problems and prospects of peace museums” The 5th No Gun Ri Academic Conference for International Peace, 2011

「「助産師」とは「命」を守る四つの‘人’なり—むかえびと・ささえびと・むすびひと・つかさびと」『助産師』日本助産師会機関紙 (特集創立 85 周年を迎えて), 社団法人日本助産師会, 2012

「部落差別を後世に伝えるために各地の「被差別部落ミュージアム」を」『居住の権利とくらし—東日本大震災をみすえて—』家正治編著, 2012 年

「人間力としての「文化力」の重要性と「里山学」への誘い」『日本ボランティア学会誌』, 2011 年度日本ボランティア学会, 2012 年

“Toward the networking of museums for a new approach to Peace” No Gun Ri Peace Park-Ritsumeikan University Peace & Human Rights Camp, No Gun Ri International Peace Foundatio, 2012

“A Proposal for the 21stCentury Converting the Force of Nature to Cultural Force” No Gun Ri Peace Park-Ritsumeikan University Peace & Human Rights Camp, No Gun Ri International Peace Foundation 2012

“Toward the networking of museums for peace” No Gun Ri peace seminar, 2012

“The Meaning of 3/11 for Humanity” The Journal of Asia-Pacific Peace Research Association, 2012

【論文（共著）】

「高度情報化社会における家族ライフスタイルに関する総合的研究」文部省科学研究費補助（総合研究 A），1991 年

共著「ネットワークングとしての異業種交流に関する基礎的・応用的研究」文部省科学研究費補助（一般研究 B），1992 年

「育児不安の解消・子どもの虐待防止のための「子育て・女性健康支援センター」活動の評価に関する研究事業」共著：加藤尚美，岡本喜代子ほか，社団法人 日本助産師会，2005 年

「世界の平和博物館のリストと研究文献について」共著：安斎育郎，山根和代『立命館平和研究』，立命館大学国際平和ミュージアム，第 9 巻，2008 年

【翻訳】

『やさしい家族調査の方法』（B.C. ミラー著，野々山久也ほか訳）ミネルヴァ書房，1991 年

『シンガポールの高齢化と社会福祉政策』（ジョン・アン著）川島書店，1997 年

【書評】

『都市計画へのアプローチ』（實清隆著，古今書院）『奈良大地理』奈良大学地理学会 第 11 号，2005 年

【エッセイ・他】

「『K』のパラダイム—官制から感性へ—」『えっせい』立命館大学人間科学研究所，2008 年

「生駒の高山を，世界の高山へ！」（上）毎日新聞（奈良版）2011 年 3 月

「生駒の高山を，世界の高山へ！」（下）毎日新聞（奈良版）2011 年 3 月

「「地元学」をはじめよう！」（上）—「生駒・高山を救うのは地元の子どもたち」毎日新聞（奈良版）2011 年 7 月

「「地元学」をはじめよう！」（下）—「生駒・高山の宝ものをさがそう会」の「一期一会」毎日新聞（奈良版）2011 年 7 月

「福祉のことと平和—「福祉学」と「平和学」をむすびつける「里山学」への挑戦—」『立命館国際平和ミュージアム 20 年の歩み—過去・現在そして未来』立命館大学国際平和ミュージアム編，2012 年

【研究発表等】

「日本における地域福祉の現状と課題—大震災を経験して—」シンガポール国立大学人文社会学部（特別講演・講義），於：国立シンガポール大学，2000年3月5日

「障害者とエイブルアート—日本における障害者芸術運動の現状と課題」シンガポール共和国主催「アジア太平洋障害者10年記念国際フォーラム」（講演），於：シンガポール，2000年11月28日

「シンガポールの社会福祉から学ぶもの」ICSW ASIA-PACIFIC REGIONAL CONFERENCE，於：シンガポール，2001年7月6日

「社会福祉とまちづくり—日本の事例から—」ASIA LAND SCAPE CONSERVATION NETWORK1（アジア古都保全ネットワーク）於：マレーシア・ペナン，2001年8月20日

「アジア社会福祉から学ぶもの—シンガポールとベトナムの今と未来—」国際社会福祉セミナー主催：全国社会福祉協議会・社会福祉専門職団体協議会，於：上智大学，2002年9月10日

「日本における家族変化と社会福祉」INTERNATIONAL WORKSHOP FAMILY,GENDER AND HEALTH（ベトナム家族・ジェンダー・健康に関する国際会議）於：ハノイ（記念講演）主催：ベトナム家族・女性研究センター／国立シンガポール大学，2002年12月3日

「アジアの社会福祉から学ぶもの—ユニバーサルヒューマンライツと新しい福祉パラダイムを求めて—」『社会福祉講演会』（記念講演）主催：大阪社会福祉研修・情報センター，於：大阪市，2003年9月10日

「アジアの社会福祉—アジアの高齢化問題から—」神戸市シティ・カレッジ，2005年2，7，11月

「わかりやすい人権講座—人権って何！—」宇治市職員研究兼市民講座，2005年2月

「社会開発と平和教育の重要性」第7回アセアン大学間学術会議，於：ハノイ，2006年7月19日

「日本におけるソーシャルワークの現状と課題について」第15回ベトナム障害児教育福祉セミナー，於：ハノイ師範大学，2006年8月

「平和教育と福祉教育の重要性について」南京国際平和フォーラム，2006年9月24日

「国際福祉と平和教育および研究の重要性について」国際平和会議2006年，於：中国・南京市，会議収録集，2006年9月

「アジアにおける高齢化問題に関する—考察」第14回アジア太平洋社会開発国際会議，2006年10月18日

“Importance of International Welfare and Peace Education: From the Relation with Welfare for Disabled People” アジア太平洋社会福祉会議 19th Asia Pacific Social Work Conference，於：ペナン・マレーシア 2007年9月

「都市再生とユニバーサルヒューマンライツ—国際福祉と平和学の視点から—」第7回 韓・中・日国際居住問題国際居住問題会議，於：ソウル・韓国，韓・中・日国際居住問題研究会議収録集，2007年10月

「アジアからみた日本の社会福祉」神戸シティ・カレッジ国際コース，2008年3月

「世界の平和博物館—Museums for Peace in the World」第6回国際平和博物館会議，2008年10月

「平和博物館の現状と果たすべき役割」4回シリーズ 1. 戦争博物館と平和博物館，2. 欧米の平和博物館，3. アジアの平和博物館，4. これからの博物館の未来像について，川西市生涯学習センター近代史学科「戦争と平和史」，2008年11月

「アジアの高齢化問題の動向と課題—ベトナムの家族と福祉的課題から—」ベトナム人文科学研究センター主催，2008年度月例学術研究会，2008年12月

「アジアの高齢化問題の動向と課題—ベトナムとシンガポール」国際シンガポール大学人文社会科学学部ソーシャルワーク学科主催研究集会，2008年12月

「アジアの高齢化問題の現状と課題—ベトナムの家族の未来像に焦点をおいて—」アジア高齢者福祉研究会，2009年2月7日

「ソーシャルワーク論—欧米とアジアのソーシャルワークの役割と仕組みについて—」JICA & 立命館大学ベトナム障害児支援プロジェクト，2009年3月

「ボランティア活動をとうして得られること—ゆめ・ゆとり・ゆうき—」葛城市ボランティア連絡協議会総会記念講演，2009年5月

「アジアの高齢化問題の現状と課題—アジアの家族構造に焦点をおいて—」東アジア研究会，2009年6月

「アジアの高齢化問題の現状と課題—ベトナムとシンガポールの介護事例から—」日韓国際セミナー「社会的再生産と移民労働—東アジアの現場から」，2009年6月

「「ベナン世界遺産都市会議」に参加して—7つの融合をめざして—」アジア世界遺産都市会議，2009年10月

「これからのまちづくりと平和構築—里山は日本の自然のおおもと—」奈良県母親大会平和分科会，2010年5月30日

「超高齢化社会とアジアの未来」京都自由大学，2010年7月16日

「いまシンガポールがおもしろい！—シンガポールをみればアジアがみえる—」，大阪人間科学大学，2010年12月

「アジアの社会福祉から学ぶもの—現代日本の社会問題を読み解く視点—」社会福祉講演会，大阪市社会福祉協議会，2011年2月3日

「日本を超えるアジアのNPOとCSR—シンガポールとベトナムからみたアジアの未来—」特

定非営利活動法人奈良 NPO センター 2011 年度「奈良 NPO フォーラム」, 2011 年 2 月 11 日
「現代日本の社会福祉問題を読み解く視点—アジアの社会福祉から学ぶもの—」, 特定非営利活動法人「CIF ジャパン」, 2011 年 10 月 30 日

「里山論」—たかが「里山」, されど「里山」—立命館大学公開市民講座, 2011 年 12 月 2 日

「21 世紀への提言, これからの国際交流への期待!—国際里山塾のこころみから—」, 日本学生海外移住連盟関西支部主催 関西学院大学 OB「カリプト会」, 2012 年 1 月 29 日

「これからの高齢者福祉の課題と展望—地域福祉における地元学（郷土研究）のゆめ・ゆとり・ゆうき—」奈良市社会福祉協議会主催, 2012 年 3 月 11 日

「「助産師」のゆめ・ゆとり・ゆうき!!」大阪市立助産師学院創立 40 周年記念講演, 2012 年 11 月 7 日

“Converting the Forces of Nature to a Cultural Force-An Invitation to Pursue the Study of Satoyama. A Satoyama may only be a little village near the mountain, only at best a Satoyama. Yet, even so, it is a Satoyama!”, IPRA Japan Conference 2012, International Peace Research Association Mie University, Tsu, JAPAN, 2012/11/25

「21 世紀への課題と展望—国際里山塾のとりくみから—」京都外国語大学互助会新年会記念講演大阪国際会議場, 2013 年 1 月 27 日

「古都景観保全とまちづくりのあり方」公益財団法人京都 SKY センター主催, 京都 SKY シニア大学舞鶴西総合会館, 2013 年 4 月 26 日

「古都景観保全とまちづくりのあり方」公益財団法人京都 SKY センター主催, 京都 SKY シニア大学, 京都新聞文化ホール, 2013 年 4 月 30 日

「アジアの社会福祉の展望と課題—日本の高齢社会福祉の動向から—」(ビデオ録画)

Singapore SIM University School of Human Development SIM University 461 Clementi Road Singapore 599491 c/o Dr. Tan Ngho Tiong Dean School of Human Development & Social Services, 2013/08/02

「これからのボランティア活動のゆめ・ゆとり・ゆうき!」NPO 法人「この指とまれ」記念講演奈良市ボランティアセンター, 2013 年 11 月 9 日

「いまなぜ里山が大切か—成熟化社会と自然との共生をめざして—」NPO 法人「京都自由大学」京都社会文化センター, 2013 年 12 月 13 日

“Converting the Force of Nature to a Cultural Force” 25th General Conference of International Peace Research Association-IPRA, 2014/08

“Collaboration between the War Remnants Museum (Vietnam) and Kyoto Museum for World Peace Ritsumeikan University” The 8th International Conference of Museums for Peace, 2014/09

Peacebuilding: the challenges of and prospects for a Steady-state Society, ICSD 2015
Singapore, 2015/07/09

